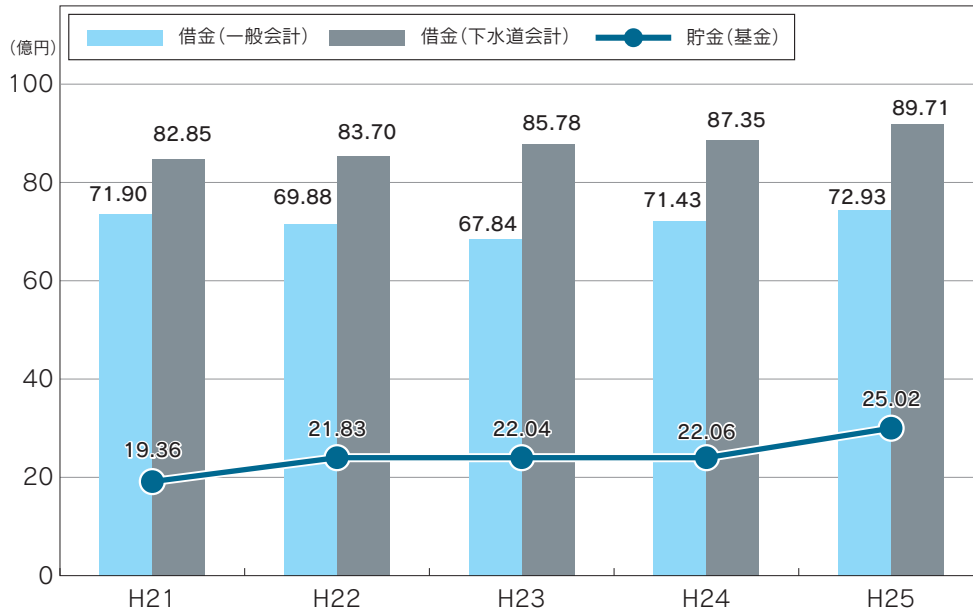


町の借金(町債)と貯金(基金)の推移



■町の借金(町債)は平成25年度末現在で、一般会計は前年度より1億5,027万円増、下水道事業特別会計は前年度より2億3,640万円増となり町全体では、162億6,445万円となっています。今後も厳しい財政状況のもと下水道整備が続くため町債の増加が見込まれますが、将来の負担を出来る限り増やさないように努めてまいります。

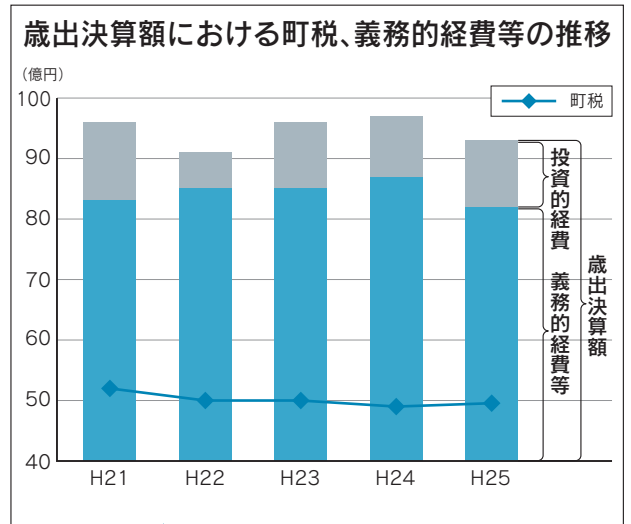
■町の貯金(基金)は、平成25年度末現在で、25億179万円の前年度より2億9,545万円の増となっています。

平成25年度「健全化判断比率」「資金不足比率」の状況は？ ～町の財政健全化指標～

財政健全化指標とは、市町村の財政が健全に維持できているかをチェックするための基準です。国が定めた5つの指標により、財政の悪化に応じて「早期健全化基準(イエローカード)」「財政再生基準(レッドカード)」が提示され、早期の財政悪化を発見・改善を行うことを目的としています。

なお、町の指標は、健全な財政状況であることを表していますが、積極的なまちづくりを進めていくとともに、健全化判断比率の数値にも注視して、財政運営に努めてまいります。

財政健全化指標	大磯町	早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率①	※赤字額ではないため、数字は表示されません。	14.18%	20%
	連結実質赤字比率②	※赤字額ではないため、数字は表示されません。	19.18%	30%
	実質公債費比率③	7.7%	25%	35%
	将来負担比率④	85.7%	350%	
資金不足比率⑤	※不足額が発生しないため、数字は表示されません。	20%		



【各比率の説明】

- ①実質赤字比率：一般会計の赤字の大きさを示す。
- ②連結実質赤字比率：町の全ての会計の赤字の大きさを示す。
- ③実質公債費比率：借入金の当該年度の返済額の大きさ(資金繰りの程度)を示す。
- ④将来負担比率：今後支払わなければならないものの大きさを示す。
- ⑤資金不足比率：各公営企業(町では下水道事業)の事業規模に対する資金の不足額。

グラフから分かること!

- 歳出全体において、町税で賄える割合が少ないことを表しています。
- 歳出額に対し義務的経費が占める割合が前年度に比べて低くなりましたが、まだ高い水準のため、道路や学校などの公共施設の整備や新たな事業に取り組む余裕が少ない状況です。